

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	ダイオキシン類による汚染状況の常時監視事業(大気、水質)	所管	環境クリーン部 環境対策課
			TEL 2998-9230

事業の目的 (何の為に 行うか)	ダイオキシン類による大気・水質・土壌等の汚染状況を常時監視する。
------------------------	----------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	ダイオキシン類(大気・水質・土壌等の汚染状況)	対象とした数	20	検体
		実際に 利用した数	20	検体

活動の内容	(何を したか)	<p>本事業に係る法定受託事務処理基準に基づき、各媒体(大気質・水質・土壌等)の測定方法マニュアルに則し、ダイオキシン類調査を実施している。</p> <p>①調査計画の作成(大気:4地点、河川水・底質:各2地点) ②測定方法マニュアルの確認 ③調査の実施(大気:年4回、河川水・底質:年1回) ④測定精度の審査、測定値の確定</p>							
活動実績	項目名	調査数	20	項目名	単位	項目名	単位	項目名	単位
			----- 単位 検体				----- 単位		----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	4,798	4,444	7,262	21.4

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	調査実施率	調査数/調査計画数×100	100	100	100.0
			----- 単位 %	----- 単位 %	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了		終了 休止		
	予算	現状どおり	増額	* 減額	終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	総合 評価	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
		拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []	終了			
	予算	現状どおり	増額	減額	終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	050200	TEL	2998-9230
事業コード	050216	ダイオキシン類による汚染状況の常時監視事業(大気、水質及び土壌等)		環境クリーン部 環境対策課		
開始年度	平成 9 年度	→	終了年度	平成 年度		
		グループ	化学物質			

②事業の概要	事業の種類別	<input type="checkbox"/> 自治事務	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市環境基本計画			ダイオキシン類対策特別措置法				
	関連・類似事業	大気汚染状況の常時監視事業、有害大気汚染物質モニタリング調査事業							
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	5節 環境保全	中柱	3 化学物質の環境リスク対策の充実	小柱	(2)ダイオキシン類対策の推進
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 8 位		・実施計画における位置づけ…H19 ○ H20 ○						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード	1111	市民の知りたい情報の提供		コード					
事業開始の背景	平成7年12月、市内土壌から高濃度のダイオキシン類が検出されたとの報道を受け、平成9年からダイオキシン類に係る大気・水質・土壌等の調査を開始した。平成14年には知事権限の移譲を受け、同法第26条に基づく常時監視事務として本調査を実施している。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)						
	ダイオキシン類による大気・水質・土壌等の汚染状況を常時監視する。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	ダイオキシン類(大気・水質・土壌等の汚染状況)			ダイオキシン類に係る調査検体数			
	対象数	単位	平成 18 年度	20	検体	平成 18 年度	20
		平成 19 年度	20	検体	平成 19 年度	20	検体
事業の具体的な内容及び実施方法							
本事業に係る法定受託事務処理基準に基づき、各媒体(大気質・水質・土壌等)の測定方法マニュアルに則し、ダイオキシン類調査を実施している。							
①調査計画の作成(大気:4地点、河川水・底質:各2地点)							
②測定方法マニュアルの確認							
③調査の実施(大気:年4回、河川水・底質:年1回)							
④測定精度の審査、測定値の確定							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>						
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])					
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)					
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
平成19年度中に改善した点							
本事業で得られたデータの有効利用を推進するため、環境GIS(独立行政法人国立環境研究所環境情報センター)へのデータ提供を引き続き行うとともに、新たに「ところざわ環境データブック2007」を作成し、市民・関係機関等への情報提供(ホームページ掲載を含む。)を行った。							

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		3,963	4,798	5,658	
	決算(見込み含む)		3,733	4,444		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.34 人	3,128	0.30 人	2,818
	公債費					
	事業費合計		6,861	7,262		
	財源内訳	一般財源	6,861	7,262	5,658	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
市民一人当たり(単位:円)			20.3	21.4		
利用数一単位あたり(単位:円)			343,050.0	363,110.0		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位		H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	調査数	ダイオキシン類に係る調査検体数	検体		20	20	34	20
成果分析	調査実施率	調査数/調査計画数×100	%	目標値	100	100	100	100	
				実績	100	100			
				達成率	100.0	100.0	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	法定受託事務である本事業については、その実施方法を改善することは難しいが、得られたデータの有効利用や情報提供を拡大する必要がある。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	調査実施率	100%		平成21年3月末
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由					
成果指標である調査実施率が良好な状況にあること、またダイオキシン類に係る本市環境の保全及び改善に不可欠な基礎調査であるため。なお、予算については、引き続き本事業の効率的・効果的運用を図るが、法定受託事務処理基準に基づく委託調査費であるため、現状どおりとする。					
評価日	平成20年5月9日	記入者職氏名	環境対策課長 中 勉		

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性							
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価理由	評価日						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ…有り		計画コード	162
	施策の体系	1-6化学物質の環境リスク対策	施策の方向	1-6-2ダイオキシン対策の推進	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ…無し		計画コード	
	基本目標				
主要課題					
施策の方向					